

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	電子工学 2（機関）	
科目基礎情報							
科目番号	5A12			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	参考書【書名】電子回路、【著者】末松安晴他、【発行所】実教出版						
担当教員	葛目 幸一						
到達目標							
オペアンプを用いた基本的な増幅回路、変調・復調回路、および発信回路について動作原理を理解し、実用回路を設計できることを目標とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
オペアンプを用いた基本的な増幅回路、変調・復調回路、および発信回路について動作原理を理解し、実用回路を設計できたか。		オペアンプを用いた基本的な増幅回路、変調・復調回路、および発信回路について動作原理を理解し、実用回路を設計できる。		オペアンプを用いた基本的な増幅回路、変調・復調回路、および発信回路について動作原理を理解できる。		オペアンプを用いた基本的な増幅回路、変調・復調回路、および発信回路について動作原理を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 E2							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点		養成施設引当て科目＆単位： 機関コース：電気・電子1 30時間 関連科目：電子工学1					
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 発振回路		発振回路の仕組みを理解し、回路を設計できるようにする。		
		2週					
		3週					
		4週					
		5週	変調回路・復調回路		変調回路・復調回路の仕組みを理解し、回路を設計できるようにする。		
		6週					
		7週	中間試験				
		8週					
	4thQ	9週	電源回路		電源回路を理解し、回路を設計できるようにする。		
		10週					
		11週					
		12週					
		13週	パルス回路		パルス回路を理解し、回路を設計できるようにする。		
		14週					
		15週					
		16週	期末試験				
評価割合							
	定期試験	小テスト	レポート	ノート提出			合計
総合評価割合	45	40	10	5	0	0	100
総合評価割合	5	0	10	5	0	0	20
知識の基本的な理解	20	40	0	0	0	0	60
思考・推論・創造への適応力	20	0	0	0	0	0	20